

2013年6月27日

外務大臣 岸田文雄様  
軍縮不拡散・科学部長 北野充様

## 核軍縮・不拡散政策に関する意見交換会のお願い と関連要請

近年、核兵器の非人道性に焦点を当てその廃絶をめざす国際的な動きが進んでいます。本年はとりわけ、3月の核兵器の人的影響に関するオスロ会議、4月のNPT再検討会議準備委員会における80カ国による核兵器の非人道性・共同声明の発表など、重要な進展がありました。この動きは、今秋の国連総会そして来年に向けてさらに発展することが期待されます。こうした中で日本政府は果たすべき重要な役割を持っています。

上述の共同声明に対して、日本政府が「いかなる状況下においても核兵器が使用されないこと」という表現に反対して署名しなかったことは、私たちを大きく落胆させるものでした。核兵器の非人道性を訴える共同声明に被爆国・日本は率先して賛同すべきです。今後の方針転換を強く期待いたします。

これらの問題に関してNGO・市民との意見交換会を開催していただきたく、お願い申し上げます。以下の議題について意見交換することを希望します。これらの項目について回答を用意していただきますようお願いいたします。

### 記

#### 1. オスロ会議とNPT準備委員会「共同声明」に関して

①核兵器の人道上の影響に関するオスロ会議の成果について、政府としてどのように評価されていますか。NGO関係者が日本政府代表団に入った点や、政府関係者がNGO主催の会議に参加した点も踏まえ、お示し下さい。

②4月のNPT再検討会議準備委員会における80カ国による核兵器の非人道性・共同声明の発表の意義について、どのようにお考えですか。また、日本政府が賛同しなかった理由について改めてお示し下さい。

#### 2. 秋の国連総会に向けて

①核兵器の非人道性に関する共同声明が提案される可能性があります。日本政府は既に先のNPT準備委員会において「今後同種の声明に賛同することを真剣に検討する」と表明されています。現時点においてどのような検討および外交努力を行っているか、また、今後どのような計画をお持ちか、お示し下さい。

②国連総会に合わせて開催される「核軍縮に関する国連総会ハイレベル会合」（9月26日）および「NPDI外相会合」について、日本としてどのような取り組みと貢献を計画しているか、お示し下さい。

③日本が毎年提出している核廃絶国連決議に関して、例年と比較して特筆すべきことがあればお示し下さい。

### 3. メキシコ会議に向けて

①2014年2月に開催される見通しの核兵器の非人道性に関するメキシコ会議について、日本政府としてどのような準備をされていますか。メキシコ政府との協議の状況、日本としての目標設定、代表団の構成、報告書提出や資料配付・展示等の可能性、事前のNGO・市民社会との協議などについて、構想と計画をお示し下さい。

②メキシコの会議では、核兵器使用による非人道的被害を直接体験した原爆被爆者をスピーカーとして推薦することはできませんか。

### 4. NPDI広島会合に向けて

私たちは、2014年4月に広島で開催される予定の軍縮・不拡散イニシアティブ（NPDI）外相会合が、核兵器の非人道性に対する国際的な関心と理解をさらに深め、核兵器廃絶への重要な前進をもたらす会議になることを期待しています。そのために、私たちは、NGO・市民社会の立場から独自の取り組みを進めたいと考えています。

①NPDI広島会合の際に、各国の外相や高官らが、被爆者を含むNGO・市民社会と対話をする機会を作っていただきたいと思います。

②そのような機会を最良の形で作るために、日本政府、広島市、NGOが協議し準備を進める枠組みを作ることを提案します。そのような協議・準備過程においては、NPDIが議題とする諸事項に関する実質的な意見交換も行っていくことを希望します。この提案に関する政府のお考えをお示し下さい。

以上、ご検討をよろしく申し上げます。

核兵器廃絶日本NGO・市民連絡会  
共同世話人

川崎哲（ピースボート）

田中熙巳（日本原水爆被害者団体協議会）

朝長万左男（核兵器廃絶地球市民長崎集会実行委員会）

内藤雅義（日本反核法律家協会）

森瀧春子（核兵器廃絶をめざすヒロシマの会）

連絡先 03-3363-7561（ピースボート）  
[nuclear.abolition.japan@gmail.com](mailto:nuclear.abolition.japan@gmail.com)